

# 衆議院国家安全保障に関する特別委員会ニュース

平成 25. 11. 21 第 185 回国会第 17 号

11 月 21 日（木）、第 17 回の委員会が開かれました。

## 1 特定秘密の保護に関する法律案（内閣提出第 9 号）

行政機関の保有する情報の公開に関する法律等の一部を改正する法律案（枝野幸男君外 2 名提出、衆法第 1 号）

特別安全保障秘密の適正な管理に関する法律案（渡辺周外 2 名提出、衆法第 11 号）

情報適正管理委員会設置法案（渡辺周君外 2 名提出、衆法第 12 号）

- ・各案について、新藤総務大臣、岸田外務大臣、小野寺防衛大臣、森国務大臣及び政府参考人並びに提出者後藤祐一君（民主）、渡辺周君（民主）及び長島昭久君（民主）に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中 谷 元君（自民）

- ・政府が特定秘密を国会へ提供する際に国会へ求める保護措置の内容が一般的かつ抽象的であることから、保護措置の内容を政令で定めるまでもないと考え、森国務大臣の見解を伺いたい。
- ・特別安全保障秘密の適正な管理に関する法律案の成立によって、他国との高度な情報共有や秘密の統一的な管理等の課題を解消することができるか、同法案の提出者に伺いたい。
- ・情報適正管理委員会設置法案により創設される情報適正管理委員会では、特別安全保障秘密に指定されている文書を専門的な観点から妥当か判断せねばならないため、その組織の規模は膨大になることが予想されるが、同委員会の具体的な構想を同法案の提出者に伺いたい。

### 大 島 敦君（民主）

- ・独立した第三者機関として情報適正管理委員会の新設を目的とした情報適正管理委員会設置法案を提出した趣旨について、同法案提出者に改めて伺いたい。
- ・同委員会を構成する 7 人の委員長を含む委員の選任方法を国会の議決による指名とした理由について同法案提出者に伺いたい。
- ・特別安全保障秘密の適正な管理に関する法律案及び情報適正管理委員会設置法案と同時に提出された国会法の一部を改正する法律案では、政府が国会から要求された情報等の提供を我が国の安全保障に著しい支障を及ぼすおそれがある等との理由で拒否した場合、両院議長及び副議長によるいわゆる「インカメラ審理」で当該拒否理由が妥当か判断することができると規定されているが、同改正案の趣旨を提出者に伺いたい。

### 今 村 洋 史君（維新）

- ・適性評価の評価対象たる民間人は「自身は公僕である」との決意で受けることが想像できることから、評価対象者から除外されている行政機関の長も適性評価を受けるべきと考えるが、森国務大臣の見解を伺いたい。
- ・適性評価のため調査する事項のうち精神疾患に関する事項等の評価にあっては客観性をもちにくいことを踏まえ適切な評価をしていく必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・武器輸出三原則等を見直して国際共同開発を行っていくことを目指す一方で、軍事技術のうち民間事業者が開発した先端技術は特定秘密に指定されないとの説明の間に整合性が取れていないと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

### 三 谷 英 弘君（みんな）

- ・特定秘密保護法案の特定秘密は指定が解除されると「カウンターインテリジェンス機能の強化に関する基本方針」に基づく特別管理秘密に移行するのか伺いたい。
- ・行政機関の長が特定秘密を指定する際に内閣総理大臣を関与させるとのみんなの党の提案に関し、森国務大臣の見解を伺いたい。
- ・秘密保持命令を、特定秘密の漏えいに係る訴訟にも導入すべきとの認識に対し、森国務大臣の見解を伺いたい。

### 赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・防衛省が防衛秘密を取り扱う企業として 11 月 20 日に答弁した 30 社に下請け企業も含まれているのか。
- ・国が適合事業者の従業者に行う適性評価は、対象者の思想・信条の調査を含むものであるか森国務大臣の見解を伺いたい。

- ・防衛秘密が含まれる施設の建築確認申請を地方自治体に行う場合、どのような手続きが必要になるか。
- ・地方自治体の職員から特定秘密が漏えいした場合には処罰されるのか。

## **玉 城 デニー君（生活）**

- ・民主党提出の「特別安全保障秘密適正管理法案」と「情報適性管理委員会設置法案」について国民主権など憲法との関係について両法案提出者に伺いたい。
- ・特定秘密保護法案別表にある「特定有害活動の防止に関する事項」が、民主党提出の「特別安全保障秘密適正管理法案」に規定されていない理由を同適正管理法案提出者に伺いたい。
- ・特定秘密保護法案にある適性評価とほぼ同様の内容である「適格性確認」をあえて規定する理由について同適正管理法案提出者の見解を伺いたい。
- ・民主党提出の「特別安全保障秘密適正管理法案」において、30年以上を経過した秘密の取扱いについて同法案提出者の見解を伺いたい。